

「メタ住宅展示場」開設

2年で1000棟の出展目指す

(東京都中央区)は8月、スマホやPCからVR内覧できる「メタ住宅展示場」サービスを開始した。住宅展示場に出演していた大手ハウスメーカーと中小工務店が横並びで比較できるサービスを開設し、今後2年で1000棟の出展を目指す。



川合大無社長

同サービスは、実在するモデルハウスや施工物件を4K高画質で撮影・デジタルツイン化し、VR内覧できるオンライン住宅展

示場のこと。これまでのVR住宅展示場は3Dパース

が主体だったが、同展示場はリアル

の建物を撮影したものをオンライン上の仮想空間で確認できる。建物そのもののリアルな空間表現にこだわり、オンライン上で室内を歩いているような内覧を実現した。

掲載されているモデルハウスは、サイト上に一覧で表記。クリックすると詳細情報がみられる形となつておらず、内覧時のゴーグルは不要。ユーザーは登録なしで自由にアクセスできる。内容が気に入った人は無料のプラン依頼ボタンから、申し込みをする流れだ。

「メタで思い浮かぶような3D空間にしなかつたのは、見にくいかどう。検索もできるので、いろんな住宅を見て比較してほしい」と川合大無社長は話す。現在、検索でき

く。

現在、モデルハウスは約100棟を掲載。掲載は引渡し前の完成物件でも可能なため、今後は住宅展示場に出展していない中小工務店の参加も強化する。出展料は現在無料だが、ユーザーからの問い合わせが入った際、1件につき1万5000円の費用がかかる。

「注文住宅の4分の3は中小の工務店で建てている。その工務店を探す術がありませんでした。今後、住宅選びのスタンダードにしていきたいです」



▲内覧時に見るさまざまな説明文や動画を埋め込むことが可能